

## シモハナ物流、岩槻に関東4拠点目の新センター建設

Edited By LogisticsToday On 2019/02/05

シモハナ物流(広島県坂町)は5日、さいたま市岩槻区に新たな物流拠点「岩槻物流センター」(仮称)を建設すると発表した。建設工事は月内に着工し、20年7月からの操業開始を目指す。

関東における同社拠点は2011年の「厚木センター」(神奈川県厚木市)が自社保有物件として初の事例で、その後も「浦和第1センター」(14年)、「浦和第2センター」(18年)と拡大を進め、今回が4拠点目となる。



新センターは建設費85億円を投じ、国道122号線沿いの土地1万9443平方メートルに建設。超冷凍庫・冷凍庫・氷温庫・冷蔵庫・常温庫を備え、延床面積は2万9981平方メートル。450人を雇い入れる計画だ。

冷媒にはノンフロン自然冷媒(アンモニア)を使用し、従業員の働きやすい環境づくりのためにパレタイズロボット8機を導入、常温庫は空調設備を完備する。

マテハンは常温庫に収容力3438パレット、冷凍庫に4056パレットの自動倉庫を設置し、トレイ循環式ピースソーターは2機(260間口)を配置する。また、入出荷の円滑化を図り、ドライバーの手待ち時間を削減するため、トラック予約受付システムを導入する。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>  
URL to article : <http://www.logi-today.com/335535>  
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.